



--令和7年10月16日(木)--

110名超が集う

栄東地区福まち交流会



この日、日の丸会館で一人暮らし高齢者と福祉協力員が集う「栄東地区福祉のまち推進センター・ふれあい交流会」が開催されました。スタッフを含めて110名超が集い、感染防止の観点から2部制で実施しました。

今回は、盆踊りの健康づくり効果に着目して

プログラムを組みました。1番目は、「日本三大盆踊りの地を映像で巡る(ビデオ放映)」で、各地の風景や盆踊りの背景などの解説入りで、秋田の「西馬音内盆踊り」、岐阜県の「郡上踊り」、富山県の「おわら風の盆」を楽しみました。

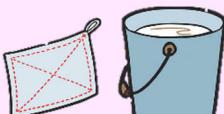
2番目は、座ったままの盆踊りです。指導は、北海盆踊り普及連合会の保坂史郎先生と日本舞踊水城流師範の井上久代先生です。最初に振り付けを説明し、すぐに実践です。ソーラン節、炭坑節、北海盆踊り、子ども盆踊りなど馴染みのある曲で、みなさん真剣に、笑顔で取り組んでいました。座ったままですが、うっすらと汗がにじみ、運動効果がありそうです。

残念ながら、一緒に食事はできませんでしたが、みなさん、お弁当やお菓子を受け取って家路につきました。



開会あいさつをする矢地・福まち運営委員長▲

--令和7年10月8日(水)--



女性部制作の雑巾を

栄東地区の小学校等へ寄贈

栄東連合町内会女性部が、栄東地区の5つの小学校(栄・栄東・栄緑・栄南・栄町小学校)などを訪ね、単位町内会の女性部などが縫った雑巾を寄贈しました。

これは、地区内の22町内会の女性部などの方々が「きれいな環境で学校生活を送ってほしい」という思いを込めて手分けして縫い上げた雑巾約700枚で、毎年、この時期に贈呈しているものです。



この日、栄東連合町内会女性部の村木紀子部長、柴田トミ子



副部長、鎌田順子副部長が訪問し、校長先生や教頭先生などに直接手渡しました。各校のみなさんからは、「毎年ありがとうございます。皆さんの思いがこもった雑巾を大切に使わせていただきます」とお礼と喜びのお言葉を頂きました。

小学校への雑巾贈呈は、各地区の連合町内会女性部長で構成する東区女性部連絡会が音頭をとって区内10地区で毎年実施されています。

--令和7年10月5日(日)--

水害リスクを知り、安全を守る！ 栄東防災訓練



水害は他人事と考えている方はいませんか。9月21日には、北海道でも線状降水帯が初めて観測されました。このように、水害のリスクは、過去の洪水をみても、近年の異常気象からも、栄東地区においてもそのリスクを常に意識しなければなりません。

この日、水害を意識した住民主体の避難所運営訓練を栄東小学校で開催しました。これは、北海道胆振東部地震の教訓を生かし、住民自らが避難所を設置し、避難者を受け入れるというシミュレーション訓練です。今回は、連合町内会の第4分区の町内会と連町役員、消防団の40名が設置者となり、避難所を設営し、他の分区の町内会会員が避難者となって訓練を行いました。

--令和7年10月9日(木)--

交通安全に願いを込め たまねぎキャンペーン



栄東連合町内会では、毎年、たまねぎに交通安全の願いを込め、地下鉄栄町交差点で、道行く歩行者やドライバーにたまねぎを配布しながら交通安全を呼び掛けています。当日の午前中に、交通安全のメッセージカードとたまねぎを袋に詰め、700セット用意しました。午後2時に「交通安全たまねぎキャンペーン」の始まりです。参加したのは、連合町内会や単位町内会の役員、交通安全母の会、交通安全指導



栄東地区まちづくり未来会議 検索

YouTubeと
ホームページで
詳しく公開中！

最初、駆け付けた札幌市職員が暗証番号を入力して、学校を開錠するというところから訓練をスタートし、4階の備蓄庫から非常食や防災用品を体育館に運び、東側玄関に受付を設け、体調不良者を検温して受け付ける臨時受付も設けました。体育館では、避難者を疑似家族に設定し、1人用から5人用まで避難スペースをつくり、みなさんに割り当てるなどの実践ながらの訓練です。続けて、栄東地区を取り巻く水害リスクや避難時の対応、情報収集などを映像と共に解説するミニ講座を通して、いざというときの対応を学びました。

途中、非常食を加熱剤で温めた温かい食事の試食も行い、東区職員からは、備蓄物資についての説明を受け、実際の重さの体験などを行いました。

最後は、備蓄物資班が仕分けした、配給の非常食を受け取り家路につきました。災害はいつ起こるかわかりません。こうした地道な訓練が、万が一の災害時、迅速に地域住民が自ら自分たちの命を守るという行動につながっていくことでしょう。



員、交通安全協会などと東区役所の神区長をはじめ職員のみなさん、東区交通安全運動推進委員会事務局、札幌方面東警察署の佐伯交通官をはじめ署員の皆様など約60名です。

このキャンペーンは、栄東連合町内会の当時の交通部長であった故・氏家謹一さんの発案とたまねぎの寄贈で始まり、今もお孫さんの氏家正喜さんがその遺志を継ぎ、たまねぎの寄贈を受け実施しており、今回で40回目を迎えました。栄東地区では、いまや秋の風物詩と言えましょう。

これから夕暮れ時が早まり、交通事故が増える季節です。ひとときの気のゆるみ、不注意が事故を招きます。みなさんも、今一度、交通安全を心がけましょう。

